

1. 本施設の基本方針

1) 周辺環境との調和	9) 維持管理の容易性
2) 災害防止	10) 改造の容易性
3) 公害防止	11) 循環型社会づくり
4) ごみ処理の安定性	12) 環境保全
5) 運転管理の信頼性	13) 施設の自動化
6) 運転管理上の安全性	14) 建物の計画
7) 維持管理の経済性	15) 運営管理の効率性
8) 作業環境	16) 見学者の動線計画

2. 事業概要

- 事業名：新ごみ処理施設整備・運営事業
- 事業方式：DBO方式
- 施設規模：
 - ごみ焼却施設 120t/日 (60t/24h×2炉)
 - 不燃物処理施設 3t/日
- 建設場所：長野県安曇野市穂高北穂高1000番地
- 工期：
 - ・建設工事 平成30年4月11日～平成33年2月28日 (JFEエンジ・武井組特定建設工事共同企業体)
 - ・運営業務 平成33年3月1日～平成53年3月31日 (エコサービスあづみ野株式会社)

3. 建築概要

- 構造：鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造
- 階数：地上6階
- 建物高さ：30m
- 煙突高さ：59m
- 敷地面積：約15,000m²
- 建築面積：約3,500m²
- 延床面積：約7,500m²

4. プラント設備概要

【ごみ焼却施設】

- 受入れ・供給設備：ピット&クレーン方式
可燃性粗大ごみ破砕機
- 燃焼設備：ストーカ式
- 燃焼ガス冷却設備：廃熱ボイラ方式
- 排ガス処理設備：消石灰・活性炭吹込みろ過式集じん器
- 余熱利用設備：発電
あづみ野ランドへの温水供給
- 灰出し設備：ピット&クレーン方式

【不燃物処理施設】

- 破砕設備：低速回転式破砕機
- 選別設備：磁選機、アルミ選別機

5. 公害防止基準

項目	保証値	法規制	単位
ばいじん	0.01	0.04	g/m ³ N以下
硫黄酸化物	50	5800*1	ppm以下
窒素酸化物	100	250	ppm以下
塩化水素	50	430	ppm以下
水銀	0.03	0.03	mg/m ³ N以下
ダイオキシン類	0.1	1	ng-TEQ/m ³ N以下

上記は全て乾き排ガスベース、O₂12%換算値とします。
 ※1：硫黄酸化物の法規制値はK値17.5です。上表の数値はK値17.5に相当するppm換算値を示しています。



完成予想パース

6. 受入対象ごみ

- ・一般廃棄物可燃ごみ
- ・一般廃棄物可燃性粗大ごみ
- ・一般廃棄物不燃ごみ（ガラス・陶磁器類・金物類）

一般廃棄物可燃性粗大ごみ

対象物例 : 畳、布団等長尺物、木材（直径20cm以内）、木製家具、プラスチック類等

対象物最大寸法 : 長さ2.0m×幅1.2m×高さ1.0m

7. ごみ搬入経路の工夫

- ・あづみ野ランドと組合に来場する車は、中央の出入口から入退場します。
- ・ごみ収集車と一般のごみ搬入車は、専用の出入口から入退場します。また、安全を確保するため、一般搬入の可燃ごみは、計量棟を通過し、ランプウェイ下の直接搬入可燃ごみヤードで受け入れします。



全体配置計画

8. 最新技術による高効率発電

最新技術を導入し、安定したごみ処理を行うと共に、ごみ焼却で発生した熱をできる限り回収し、有効利用（発電、あづみ野ランドへの温水供給）します。発電効率は同規模施設においてトップレベルの21%を実現します。

国内トップレベルの高効率発電を実現する技術



9. 建設工事工程

【工事期間中の対策】

- ・建設工事期間中も、あづみ野ランド来場者用に30台の駐車スペースを確保します。
- ・工事車両出入口にはガードマンを配置し、事故防止に努めます。

年度	平成30年度			平成31年度			平成32年度																
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
全体工程	▼契約			建築工事着工▼			プラント工事着工▼			受電▼			ごみ受入開始▼			竣工▼							
旧ストックヤード基礎撤去				■																			
建築工事							■																
プラント工事										■													
試運転													■										

※本書に記載の内容は、今後の打合せ及び設計進捗により変更する可能性があります。